



1日(木)、22日(木)午前診療
 8(木)、15日(木)、29日(木)休診
 11日(日)院長地域医療センター出務
 18時~21時

内服 時間	月		日		日		日		日		日		日		
	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時
40															
39															
38															
37															
36.5															
咳															
鼻															
食水															
嘔吐															
下痢															
腹痛															
頭痛															
のど															
感染性胃腸炎・おなかのかぜ・のどのかぜ・咽頭炎・扁桃腺炎・中耳炎															
インフルエンザ A B RS・アデノ・溶連菌・気管支肺炎															

★熱や症状の経過を記載して持ってきてください★

おなまえ: _____ 男 女
 様 オ ケ月
 熱性痙攣 あり(回) なし
 ダイアブ37.5℃以上で挿入。1回目(:)
 続けば8H後(:)
 熱が続いても2回で終了!!
 突発性発疹 すみ まだ
 インフルエンザワクチン: 1回・2回・未接種
 インフルエンザ すみ (A・B) まだ
 幼・保 年少・年中・年長・未満児
 小・中学校 年

■気になったこと、聞きたいこと

熱さましの坐薬、頓服を使用した時は★をつけてください
 お薬希望: 粉・シロップ・錠剤

▲熱さまし;ある(個くらい)・なし
 希望;坐薬・粉・錠剤
 解熱剤は38~38.5℃以上(下がる幅は約1~2℃)
 5~6時間間隔で再度使用(ひどい時4時間で大丈夫)
 ぐずる時・痛い時・耳痛に使用、元気なら使わない

3歳まで	3歳以上ただし20kgまで	3歳以上
ナウゼリン(10)1個	ナウゼリン(30)2/3個	ナウゼリン(30)1個
15kg~25kg未満	25kg以上	
ドンペリドン5mg	ドンペリドン10mg	

★登園許可希望の方は、必ずこの熱計表(熱記入して)ご持参下さい★
 ★必ず6日休み・解熱後(平熱になって)学童児は3日、未就学児4日休み★

熱さましのQ&A

- Q 粉と坐薬はどちらが効きやすいの?
 A どちらも効果は変わりません。使いやすい方を使ってください。※嘔吐があるときは、坐薬がよいかもしれません。
- Q 坐薬を使ってもお熱が下がりません・・・
 A だいたい1~2℃くらいです。横ばいの子供さんもあります。(例)39℃代→88℃代までです。
 熱の下がりなくても、それ以上の熱の上がりをおさえています。
- Q 熱さましは何時間ごとに使っていくの?
 A 5~6時間あけてください。どうしてもきつそうな時は4時間で使用して大丈夫です。
- Q 熱さましは使ったほうがいいの?
 A きつそうであれば使ってあげて下さい。熱が高くても元気にしていれば、そのまま様子みてもいいです。
 熱がなくても、頭痛い・耳痛い・機嫌が悪いときは使ってあげてください。
- Q ダイアブ(痙攣止め)・ナウゼリン(吐き気止め)の坐薬を使ったらどれくらいあければ使用していいの?
 A 30分あければ、次の坐薬を使用しても大丈夫です。※痙攣止め(ダイアブ)を優先しましょう。
- Q 家にある坐薬使えますか?
 A 使用期限は約5年持ちます。(みよし薬局では、スタンプがおされています。参考にしてください)
- Q 坐薬の使用量がわかりませんか?

*6ヶ月未満はアンヒバ100mg 1/2ヶです。6ヶ月以上は、下の表を参考にしてください。

5~6kg	7~8kg	9~11kg	12~14kg	15~17kg	18~21kg
アンヒバ 100mg2/3ヶ	アンヒバ 100mg3/4ヶ	アンヒバ 100mg 1ヶ	アンヒバ 200mg2/3ヶ	アンヒバ 200mg3/4ヶ	アンヒバ 200mg 1ヶ